

## 平成30年度 キャリア創造（国語）

教科	キャリア創造	科目	アドバンスセミナー（国語）	単位数	1	年次	1
使用教科書	なし						
副教材等	LT現代文1（浜島書店）						

## 1 担当者からのメッセージ

- ・評論や小説など、さまざまな文章を用いた演習問題に取り組み、「読む能力」とともに「書く能力」をしっかりと身につけましょう。
- ・授業の後には内容を振り返って復習し、確実に力をつけていってください。
- ・授業内での課題はもちろん、家庭学習用の課題にも積極的に取り組んでください。
- ・提出物の期限は必ず守りましょう。
- ・テスト等は学習計画を立てて臨むようにしてください。

## 2 学習の到達目標

- ・演習を通して、進路実現のために必要である総合的な国語力を身につける。
- ・小論文、志望動機、自己紹介文などさまざまな文章を書くための表現力を身につける。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

## 3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート等)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 小テスト	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
通年	文脈把握	【評論】 評論問題を通して、 文脈を把握する。	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに 合った適切な表現の仕方で書 こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句など に合った適切な表現の仕方で書 いている。 e:書くことに必要な、文章の形態 や文体の違いによる特色につ いて理解している。	a、c、e: 記述の点検と確 認
	内容・主旨理解	【評論】 評論問題を通して、 内容を理解する。	○			◎	○	a:考えの進め方や、筆者の意見な ど、文章の筋道を的確にとらえ ようとしている。 d:考えの進め方や、筆者の意見な ど、文章の筋道を的確にとらえ ている。 e:正しく理解し、使いこなせる言 葉の数を増やしている。	a:行動の観察及 び記述の点検  d,e:記述の確認 及び小テスト
	理由説明	【随想・随筆】 随想・随筆問題を通 して、筆者の意見を 把握し、理由を説明 する。	○	◎			○	a:筆者の考えを踏まえて自分の 考えを説明したり、考えを相対 化したりして説明しようとし ている。 b:筆者の考えを踏まえて自分の 考えを説明したり、考えを相対 化したりして説明している。 e:話すこと・聞くことに必要な、 文章の形態や文体の違いによ る特色について理解している。	a、e: 記述の点検と確 認  b:行動の観察
	心情理解	【小説】 小説問題を通して、 登場人物の心情を 理解する。	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心 情を表現に即して読み、異なる 立場から読み深めようとして いる。 d:文章に描かれている人物の心 情を表現に即して読み、異なる 立場から読み深めている。 e:正しく理解し、使いこなせる言 葉の数を増やしている。	a、d、e: 行動の観察と確 認
	構成把握	【評論】 評論問題を通して、 文章の構成を把握 する。	○			◎	○	a:文章の展開を確かめ、その構成 を理解しようとしている。 d:文章の展開を確かめ、その構 成を理解しようとしている。 e:書くことに必要な文の組み立 てについて理解している。	a:行動の観察及 び記述の点検  d、e: 記述の確認及 び小テスト

	内容・理由・表現理解Ⅰ	【小説・評論】 小説、評論問題を通して、内容把握と理由説明、表現方法の理解をする。	○		◎		○ a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを理解しようとしている。 c:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを理解している。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、c、e: 記述の点検と確認及び分析
	内容・理由・表現理解Ⅱ	【小説・評論・鑑賞】 小説、評論、鑑賞問題を通して、図表や文章など複数の資料から内容を把握し、その理由や表現効果を考える	○		◎		○ a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを理解しようとしている。 c:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを理解している。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、c、e: 記述の点検と確認及び分析

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:話す・聞く能力      c:書く能力  
d:読む能力      e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。